


益田市の社協だより

Vol.265

2022年5月号

# はぁ〜てい

 この広報誌には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

## 笑顔と元気をお届けします！

(益田地区ボランティア協議会・配食ボランティア)



益田地区ボランティア協議会の活動については3ページの記事もご覧ください。

### 益田市社会福祉協議会

本 所 〒698-0036 益田市須子町3-1 TEL: 22-7256 FAX: 23-4177

美都支所 TEL: 52-2392 FAX: 52-2716 / 匹見支所 TEL: 56-0374 FAX: 56-0387

# 令和4年度 益田市総合福祉センター講座のご案内

総合福祉センターでは、明るく豊かな日々を過ごしてもらうため、下記の講座を開催いたします。是非ご参加ください。受講対象者は、益田市に居住する60歳以上及び母子・寡婦・父子の方です。

講座名	社交ダンス教室 (初心者・中級者)	囲碁教室	習字教室	手編教室	園芸教室 (寄せ植え)	いきいき健康教室 (筋肉トレーニング)
期間	5/13~3/10	6/14~11/8	5/19~3/16	5/14~3/11	5/20~3/17	5/20~3/3
期日	毎月 第2金曜日	毎月 第2、4火曜日	毎月 第3木曜日	毎月 第2土曜日 (8月第1土曜日)	毎月 第3金曜日	毎月 第1金曜日 (初回 第3金曜日)
時間	13::30~15:30	9:30~11:30	13:30~15:30	10:00~12:00	13:30~15:30	9:30~10:30
回数	11回	11回	11回	11回	11回	11回
講師	増野 栄一	田原 俊平	梅津 政子	中田 登志枝	渡辺 恭典	美原 愛子
集人数	40名程度	20名程度	20名程度	20名程度	20名程度	15名程度
受講料	無料	無料	無料 (但し、実費必要)	無料 (但し、実費必要)	無料 (但し、実費必要)	無料
内容 その他	・初心者の方大歓迎 ・毎月第4金曜日は 自主的に実施 ・ハイヒール等の靴 は使用禁止です	・初心者の方大歓迎	・習字用具は各自 でご持参下さい	・初心者の方大歓迎 ・編み棒、かぎ針は 各自でご持参下 さい	・材料代等は各自で ご負担して下さい	・膝、腰、股関節など 痛みのある方、 足腰に自信のない 方大歓迎 ・運動のできる服装で ご参加下さい
開催 日程 (予定)	5/13・6/10・ 7/8・8/12・9/9・ 10/14・11/11・ 12/9・1/13・ 2/10・3/10	6/14・6/28・ 7/12・7/26・ 8/9・8/23・ 9/13・9/27・ 10/11・10/25・ 11/8	5/19・6/16・ 7/21・8/18・ 9/15・10/20・ 11/17・12/15・ 1/19・2/16・ 3/16	5/14・6/11・ 7/9・8/6・9/10・ 10/8・11/12・ 12/10・1/14・ 2/11・3/11	5/20・6/17・ 7/15・8/19・ 9/16・10/21・ 11/18・12/16・ 1/20・2/17・ 3/17	5/20・6/3・7/1・ 8/5・9/2・10/7・ 11/4・12/2・ 1/6・2/3・3/3
会場	大集会室	研修室	大集会室	会議室B	ふれあい広場	大集会室
益田市総合福祉センター						

- ※ 期日や会場は、変更する場合があります。
- ※ 申し込みは、令和4年5月9日(月)より電話でのみ受付をします。総合福祉センター(TEL 22-7256・23-4177)までお願い致します。また、定員になりしだい締め切らせていただきます。詳しいことは、益田市社会福祉協議会(総合福祉センター)へお問い合わせください。令和4年5月8日以前の受付、及び土・日曜日の受付は行いませんのでご了承ください。
- ※ 当講座内での物品の販売、及びセンター講座以外への勧誘行為は禁止します。そのような行為を発見・確認しましたら当講座を辞めていただく場合がありますのでご了承ください。

そのままにしている心配事はありませんか？

## 公証人による 無料相談会

公証役場は国の機関です。秘密は厳守されます。

相談担当: 浜田公証役場 <sup>たきむら</sup> 瀧村 <sup>つよし</sup> 剛 公証人

老後の不安

任意後見

養育費の支払い

子供たちの  
相続争い

金銭・土地・建物などの  
貸し借りのトラブル

日時

6月3日(金)

10時00分~16時00分

場所

益田市総合福祉センター  
(益田市須子町3-1)

お問合せ  
ご予約

益田市社会福祉協議会  
TEL:0856-22-7256  
FAX:0856-23-4177

※ 先着順となりますので、事前にご予約ください



# ますだボランティア情報 No.54

40年地域をつなぐちらし寿司

## 益田地区ボランティア協議会



▲ 地域の独居高齢者のお宅へ 美味しいちらし寿司を 毎月届けてくれる益田地区ボランティア協議会の皆さん



▲ あたたかいメッセージを添えて



▲ 毎月、70食近く作っています



▲ 配食日前日の下ごしらえ風景

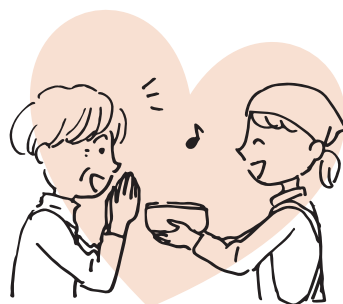
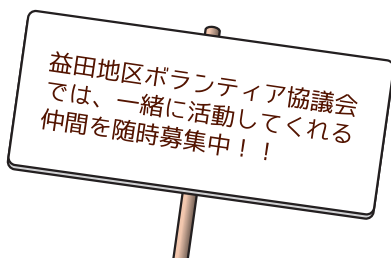
益田地区ボランティア協議会では、月に一度、地区内の高齢者を主対象に、配食ボランティアとしてちらし寿司を届けています。

元々は昭和50年頃、益田地区にある「住吉神社」の先代の宮司だった安達寿人氏を中心とした地元の有志の方たちが始めた活動でしたが、今は益田地区ボランティア協議会の活動として受け継がれています。

現在ボランティアスタッフの年齢層は70～80代がメイン。

スタッフの高齢化はどの地区も否めませんが、ちらし寿司を受け取る方々の笑顔と「ありがとう」がスタッフの方々の「喜びとエネルギー」として活動の励みになっているそうで、コロナ禍の中でも感染症対策を講じた上で、ちらし寿司作り・宅配に毎月奔走しています。

核家族化は進んでいますが、40年以上続く「お元気ですか？」の声と笑顔のバトンは、この先も続いてほしいと感じました。



配食サービスの利用について、希望される方は益田地区の民生委員さんにご相談ください。

※ 対象は益田地区内在住で  
85歳以上の高齢者の方です。  
(要相談)

# 事業計画・予算

助けてよし、  
助けられてよし、  
そして共によし

## 令和4年度 予算

収入科目	予算額 (単位:千円)
会費収入	14,803
寄附金収入	5,266
経常経費補助金収入	97,188
受託金収入	354,954
貸付事業収入	1,800
事業収入	9,662
負担金収入	273
介護保険事業収入	556,973
保育事業収入	450
障害者福祉サービス等事業収入	3,058
受取利息配当金収入	7
その他の収入	3,639
積立資産取崩収入	70,000
拠点区分間繰入金収入	47,126
サービス区分間繰入金収入	55,045
その他の活動による収入	10,988
前期末支払資金残高	119,918
<b>収入合計</b>	<b>1,351,150</b>

支出科目	予算額 (単位:千円)
人件費支出	701,171
事業費支出	268,757
事務費支出	70,393
貸付事業支出	1,800
共同募金配分金事業費	13,245
助成金支出	16,919
負担金支出	923
その他の支出	27
固定資産取得支出	600
ファイナンス・リース債務の返済支出	6,283
基金積立資産支出	428
積立資産支出	70,000
拠点区分間繰入金支出	47,126
サービス区分間繰入金支出	55,045
その他の活動による支出	25,513
予備費支出	400
当期末支払資産残高	72,520
<b>支出合計</b>	<b>1,351,150</b>



# 令和4年度

## ■ 基本方針

『益田市社会福祉協議会』は、昭和27年11月に任意団体として設立し、本年創立70周年を迎えます。

未だに収束の見通せないコロナ禍や社会構造の変化などにより、多種多様な福祉ニーズが複雑化・複合化する社会情勢の中、国は人々が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域住民が支え合い、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていくことのできる「地域共生社会」の実現を目指しています。また、国際社会においても持続可能な開発目標（SDGs）を掲げ、あらゆる分野において取り組みが進められています。

これらの動きを同じくし、全国の社会福祉協議会では、包括的支援体制の構築に向けて、社協事業・活動の強化に取り組んでいます。本県においても県内すべての社協が連携・協働した社協ブランドの構築に取り組むこととしております。

益田市社会福祉協議会も地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが支え合いながら安心して暮らすことのできる「ともに生きる豊かな地域社会」づくりを、本会キャッチフレーズ『助けてよし、助けられてよし、そして共によし』のもと、役職員が一丸となってその歩みを進めてまいります。

## ■ 重点項目・主な実施事業

### ① 地域福祉推進基盤の強化と第4期益田市地域福祉活動計画の策定

- 第3期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進および進捗管理
- (新) 第4期益田市地域福祉活動計画の策定
- 益田市生活支援体制整備事業の推進
- ふれあいのまちづくり事業
- 地域福祉活動助成事業
- 地区社会福祉協議会との連携強化と活動支援
- 関係福祉団体との連携強化と活動支援
- 福祉バス運行事業
- ふれあい・いきいきサロン研修会の開催
- ふれあい・いきいきサロン事業
- ふれあい・子育てサロン事業
- 食を通じた地域の居場所づくりの推進
- 福祉啓発・広報活動の充実強化
- 福祉教育の推進
- 益田市ボランティアセンターの運営
- 災害発生に備えた被災者支援活動の推進
- 島根県共同募金会益田市共同募金委員会の運営と共同募金運動の推進
- 日本赤十字社島根県支部益田市地区の運営と事業推進
- 地域包括ケアシステムの構築
- 益田市社会福祉大会の開催
- (新) 益田市社会福祉協議会創立70周年記念小史の作成
- 友愛メール事業による見守り活動（美都）
- 美都地域子育てサロンの開設（美都）
- 美寿苑高齢者サロン「暖暖茶の間」の開設（美都）
- 安心♡お買い物宅配サービス「匹見らくらく便」事業・「らくらくサロン」の開設（匹見）
- もみじの里地域交流ホールでの「もみじサロン」の開設（匹見）

### ② コロナ禍における生活困窮者支援の強化と総合的な権利擁護の推進

- あんしん生活支援センターによる包括的支援体制の充実・強化
- 総合相談事業
- 生活困窮者自立相談支援事業〔市受託事業〕
- 生活福祉資金貸付事業〔県社協受託事業〕
- 無利子生活資金貸付事業（民生融金）
- 入居債務保証支援事業
- フードバンク事業
- 日常生活自立支援事業〔県社協受託事業〕
- 法人後見事業
- 市民後見推進事業〔市受託事業〕

### ③ 指定管理事業・介護サービス事業等の適正な管理経営

- 指定管理事業  
（益田市総合福祉センター、益田市立匹見保育所、美都・匹見地域高齢者福祉施設の管理経営）
- 在宅・施設福祉サービス事業

### ④ 社会福祉法人等との連携・協働による地域公益活動の推進

- 益田市社会福祉法人連絡会の運営
- 相談窓口「ふくし なんでも 窓口」の機能充実

### ⑤ 本会の総合力向上と更なる発展に向けた経営基盤の強化

- 組織統治体制の確立と機能強化
- 職員の人材確保・育成・定着の推進
- 持続可能な安定した財源確保と健全な財政運営

# 令和4年度 福祉公開講座開講のお知らせ

いよいよ福祉公開講座がはじまります！  
 今年も福祉に関するさまざまなテーマで講座をお届けします。  
 受講料・テキスト料は**全て無料**。1講座のみの参加も可能ですので、ぜひご参加ください！

- 6/7 (火) テーマ 「在宅介護」  
在宅での介護方法について
- 6/14 (火) テーマ 「お薬」  
市販薬の上手な使い方
- 6/21 (火) テーマ 「空き家」  
空き家の活用方法
- 7/12 (火) テーマ 「物忘れと認知症」  
物忘れと認知症の違いとは？
- 7/26 (火) テーマ 「保護司」  
保護司ってなんだろう？



※ 日程や講座内容については、新型コロナウイルス感染症等の事情により変更、または中止になる可能性があります。  
 詳細は社協までお問い合わせください。(☎0856-22-7256 担当：横田)

## あんしん生活支援センター ふれあい福祉相談のご案内 5・6・7 月

どんなことでも、まずはご相談ください。  
 いっしょに考え、解決へのお手伝いをいたします。



相 談	開 催 日	時 間
無料法律相談	5月13日(金)・6月10日(金)・7月8日(金)	13:00~15:00
ふれあい福祉相談	5月13日(金)・6月10日(金)・7月8日(金)	10:00~15:00
老人・ひとり親相談	5月13日・27日(金)・6月10日・24日(金)・7月8日・22日(金)	10:00~15:00

※ 無料法律相談担当弁護士：5月 羽柴 貴宏弁護士 / 6月 谷川 円弁護士 / 7月 田中 秀樹弁護士  
 (都合により変更になる場合もあります)

お問合せ ご予約 **あんしん生活支援センター(益田市社会福祉協議会)**  
 フリーダイヤル：0120-062-301 / TEL：22-7256 / FAX：23-4177 (月～金 8:30～17:30)

## 善意の輪 (令和4年1月1日～令和4年2月28日) 敬称略

ご寄附ありがとうございます。地域福祉活動事業費や、福祉基金積立の原資として、大切に活用させていただきます。

【香典返し】	(故) 豊田 澄子 黒周町 金一封	藤井 誠 馬谷町 金一封
(故) 大庭 操 遠田町 金一封	大石 裕二 黒谷町 金一封	(故) 寺戸トミ子 美都町三谷 金一封
田原 忠明 多田町 金一封	(故) 渡邊 良子 須子町 金一封	(故) 若杉 照代 美都町都茂 金一封
渡邊 真司 大草町 金一封	永嶺 広子 乙吉町 金一封	(故) 齋藤 明子 匹見町匹見 金一封

コロナに負けない地域づくりをめざして

## 地域支え合い活動と介護予防

3月7日(月)ご近所福祉クリエイター酒井 保 氏を講師に迎え、生活支援体制整備事業研修会「2025年問題への挑戦!～地域支え合い活動と介護予防の関係を探る～」を開催しました。益田市社会福祉協議会主催としては初めてのオンライン開催となりましたが、国民の3人に1人が65歳以上になり、5人に1人が後期高齢者になる、いわゆる「2025年問題」や「健康で長生きするためには何が必要か」などを楽しく分かりやすくご講演いただきました。

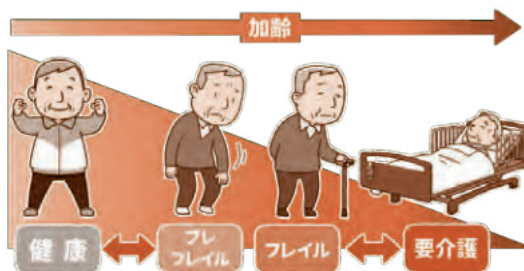
特に『加齢にともなう心身の衰え(フレイルの進行)→社会とのつながりを失う(社会性の低下)』ではなく「**加齢にともなう心身の衰えは、社会とのつながりを失うことで始まる**」、つまり「**社会性の低下→フレイルの進行**」であること、「地域で暮らし続けるための生活支援とつながりを切らない地域づくり(フレイル予防)」が介護予防につながることなど、新しい学びがたくさんある研修会となりました。

今回の研修会は、午前は主に専門職等を対象として益田市総合福祉センター、午後からは匹見の地域住民向けに匹見タウンホールにて開催しましたが、これからも益田市社会福祉協議会は地域のつながりや支え合い活動を応援していくため、地域にお住まいの皆様に向けた講演会や研修会、講座、協議の場などを提供し、一緒に取り組んでいきたいと思っております。

### 研修会より一部抜粋

フレイルとは?

「フレイル」とは“虚弱”という意味で、加齢にともなう徐々に心身が衰えていく状態をいいます。社会とのつながりが切れることでフレイルも進行しやすくなっていきますが、フレイルは「適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態」ともされており、努力次第では身体機能や認知機能を回復することもできるといわれています。人や地域とのつながりがフレイルを予防します。



コロナに負けない地域へ



新型コロナウイルス感染症の流行により、心配されるのが高齢者の過剰な自粛により、フレイルが進行してしまうことです。三密を避ける、マスク着用・こまめに手を洗う、手指の消毒をする、換気をまめに行うなど、きちんと対策をすれば、皆で集って楽しい時間を過ごすことはコロナ禍の元でも十分可能です。

地域のつながりを切らないために、また何より自分自身の心身の健康を守るためにも「**正しく恐れて、楽しく集う**」ことを続けていきたいものですね。

匹見

### 地域づくり講演会を開催



3月7日(月)匹見タウンホールで益田市社会福祉協議会匹見支所・匹見地域福祉委員会共催で生活支援体制整備事業「地域づくり講演会」を開催し、26名の参加がありました。講師のご近所福祉クリエイション主宰 酒井 保先生に演題「コロナ下で考える～つながりを切らない地域づくり～」をリモートで、ご講演いただきました。

「コロナ予防で人の社会性が低下している」「正しく恐れて・楽しく集う」など集まることや支え合いの大切さを、ユーモアを交えながら話され、参加者からも「集まって話すことの大切さがわかった」「これまでサロン活動を続けてきたことは良いことだった」と感想を聞くことができました。

(匹見圏域生活支援コーディネーター 石田)

## 美濃 “いこいの館”から桃の節句のおとどけ



今年で5年目となった、美濃地区のひな祭りイベント。昨年に引き続き、コロナ禍のため人を集めてのお祭りは中止となったものの、たくさんの雛段飾りが並ぶと聞き、早速美濃地区の春を感じに出かけてみました。

美濃地町にある“いこいの館”に一步足を踏み入ると、約350体のひな人形が部屋いっぱい飾られており、まさに「圧巻」という表現がぴったりな空間に、一気に表情もほころびました。

この雛人形は、ご家庭で飾らなくなったという声から声への口コミで、集められているそうです。中には浜田市に古くから伝わる「長浜人形」と言われる粘土で出来た人形も飾られていました。

ひな人形を収集・管理している有志の会の方々は毎年来るこの時期を楽しみにされているとのことでした。

「集うこと。飾ること」、コロナ禍でも続けられる地域発信の大切な行事です。今の状況下でもできる地域発信は、優しい思いで作られていると、取材をしながら感じました。

また季節が夏へと移る頃には、美濃地区名物でもある「ひまわり畑」が訪れる人たちを待っています。

皆さんもぜひ、美濃地区の素敵ゾーンに足を運んでみませんか？

(西部圏域生活支援コーディネーター：中井)

## 美都 スマホ教室を開催しました



3月16日(水)東仙道公民館にて、ドコモショップ益田店の辻野絵理奈さんを講師にお招きしてスマホ教室を開催しました。

前半はインターネット利用に関する基本的な知識を教えてもらい、後半は個人が聞きたいことを質問してお答えいただくという内容で、日ごろわからなかった事をそれぞれ教えてもらうことが出来、「今日習った便利な機能を生活に取り入れたい!」とおっしゃいました。

3G回線がキャリアごとに順次終了することが決まり、スマートフォンの普及率が上昇している中で、スマートフォンの操作は高齢者にとってひとつの課題になるかもしれません。

ドコモショップでは様々なスマホ教室を開催されていますので、それらを利用しながら時代の流れに対応していけたら良いですね。

(美都圏域生活支援コーディネーター：田村)